

YUKIO HATTA:

Index to the Ārya-Prajñā-Pāramitā- Naya-Śatapañcaśatikā

大谷大学佛教学研究室

「一般に理趣経というところ、不空訳「大乗金剛不空真実三摩耶経」をちすが、広く理趣経とよばれる経典には、梵語原典 *Adhy-
arthaśatikāprajñāpāramitā* or *Ārya-prajñāpāramitā-naya-
śatapañcaśatikā* 西蔵訳 *hphags pa ses rab khi pha rol tu
phyin pahi tshul brgya lia bcu pa* 漢訳経典では不空訳の
他に、玄奘訳「大般若経第十会般若理趣分、菩提流支訳「実相
般若波羅蜜経」、金剛智訳「金剛頂瑜伽理趣般若経」、法賢訳
「最上根本金剛不空三昧大教王経」、施護訳「徧照般若波羅蜜
経」の五種類の異本がある。本書は、これら梵、蔵、漢の理趣
経類本の語彙を比較対照した索引である。梵語原典は、一九一
二年にロイマン氏によって出版せられたが、部分的に北方アー
リヤ語（マータン語）を含んだ梵本である。この梵本に基いて、
梅尾祥雲博士は泉法環教授と共に大正六年（一九一七）に「梵蔵漢
対照般若理趣経」を公刊し、昭和五年（一九三〇）に「理趣経の研
究」（pp. 1~9, pp. 11~33）に掲載される梵文と蔵文に基いて

作成されている。

本書の内容は、(1)「梵・蔵・漢対照索引」、(2)「コータン・蔵・漢対照索引」、(3)「蔵・梵・漢対照索引」、(4)「漢訳索引」、(5)「梵・蔵テキスト」の五部門に分れる。(1)の「梵・蔵・漢対照索引」では、梵蔵の語彙にそれぞれ梅尾祥雲博士「理趣経の研究」に掲載される原文の頁数を附し、これに相当する不空を始めてとする六本の漢訳の語彙を、大正新脩大蔵経の頁数を附して、列挙する。(2)の「コータン・蔵・漢対照索引」では、渡辺照宏博士の「理趣経于闐文並に語彙」（智山学報 新第七・八巻）、「理趣経于闐文和訳」（聖語研究 第三輯）を参考にして、コータン語の格変化を示し、あるいは、その相当梵語を示しているのが、特に注意される。(3)の「蔵・梵・漢対照索引」では、蔵語の語彙の首部に番号がつけられており、(4)の「漢訳の語彙索引」の番号とともに、漢蔵が対照できるように便宜がはかられている。(4)の「漢訳索引」は、総画索引と漢字音索引と語彙索引とをふくんでいる。(5)の「梵・蔵テキスト」は、梅尾博士「理趣経の研究」に掲載される原文であり、その頁数・行数も梅尾博士掲載のそれにアイデンティファイされている。

理趣経は多くの密教的な特殊な語彙を使用するむつかしい経典であって、伝統的な仏教学研究では、大乘佛教と密教、乃至、頭教と密教との間には思想的な矛盾があるとすら一般に考えられている。しかし、このような一般的な考え方を訂正し、大乘佛教と密教との結びつきを明らかにし、理趣経の真実の思想を明かにしようというのが、本索引作成の目的であると、著者は

序文で述べている。本索引は、右の内容の紹介に見られるように、きわめていきとどいた索引であり、この著者の目的にそぐものである。漢訳による密教のむつかしい理解を一般佛教の研究の場面にもたらし、伝統的な密教研究に新しい展望を与えるためには、梵蔵の対照よりも、むしろ、漢訳と梵蔵との対照が必要であり、梵蔵の語彙のみならず、漢訳六本の語彙を仔細

に抽出した著者の索引作成の労は、高く評価されてよい。

エドワード・コンゼ博士の労作である *Materials for A Dictionary of the Prajñāpāramitā Literature, 1967* の中に、理趣経の梵蔵の語彙が収められているが、理趣経にかんするかぎり、本索引はコンゼ博士の索引に加上する所が多い。

(一九七一年三月、平樂寺書店、B五版、四、八〇〇円)